

# 地震災害に備える

## 安全対策10か条



### チェックポイント

地震から身を守る最大のポイントは、日頃の備え。ケガや火災などの二次災害を引き起こさないためにも、いざという時の行動を頭に入れておきましょう。

### 2 すばやく火の始末

揺れが収まったらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。



### 3 戸を開けて出口の確保

震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。



### 1 揺れを感じたらまず身の安全を!

ケガをしたら火の始末や避難がおくれてしまいます。家具の転倒や落下物には十分な対策を。



### 4 火が出たらすぐ消火

万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。



### 5 あわてて飛び出さない

飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。



### 6 狭い路地やブロック塀には近づかない

ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れが。すばやく避難を。



### 7 協力し合って応急救護

地域ぐるみで協力し合って応急救護の体制を。



### 8 山崩れ、がけ崩れに注意

居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。



### 9 避難は徒歩で

マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。



### 10 正しい情報を聞く

事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。



## 日本で発生する地震のタイプ

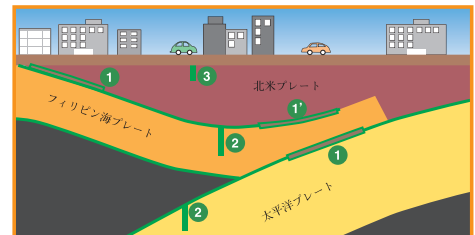
地震は、断層運動によって起こり、大きく次の3タイプに分類されます。

1. プレート境界で発生する地震
2. プレート内で発生する地震
3. 内陸部の活断層を震源とする地震

太平洋側で海洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでいるため、日本列島には東-西方向ないし、南東-北西方向に強い圧縮の力がかかっています。この海洋プレートの沈み込みと、それに伴う陸地の圧縮により、日本各地でさまざまな地震が発生するのです。

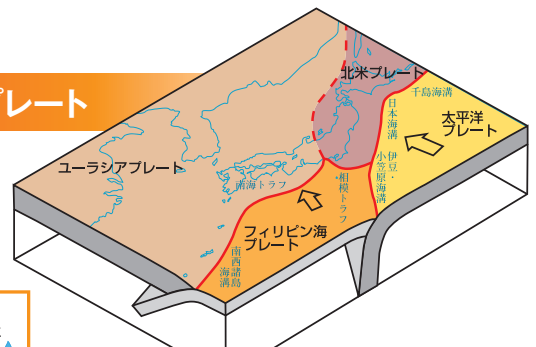
### 南関東直下のプレート構造と発生する地震タイプ

- 1 プレート境界部の海溝で発生する巨大地震
- 2 プレート内で発生する地震
- 1' その他プレート境界で発生する地震
- 3 内陸部の活断層を震源とする地震



## 日本周辺のプレートと地震発生メカニズム

### 日本周辺のプレート



### 海溝型地震の発生メカニズム



海側のプレートが年数cmの割合で陸側のプレートの方へ移動し、その下へ潜り込む。

陸側のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。

ひずみがある限界に達した時、陸側のプレートが跳ね上がり、地震が発生する。その際、津波が発生する可能性がある。

日本の太平洋岸の海底では、海洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでおり、これらプレート境界では、プレート先端部が跳ね上がることで、マグニチュード8クラスの海溝型地震が発生することがあります。